

弘前城石垣修理

第 25 回 ～石垣積み直しの完了～

令和3年6月23日に開始した弘前城跡本丸東面の石垣積み直しは、解体した2,185石全てを積み直し、完了しました(※1)。



▲(※1) 天守台石垣積み直し完了(令和6年12月)

2014(平成26)年の内濠埋め立て工事からスタートした「弘前城本丸石垣修理事業」は、開始から10年で石垣積み直しの完了という大きな節目を迎えたこととなります。

今年度は、天守台部分の石垣積み直しを行いました。今回積み直された石垣は、江戸時代の反りをもつ勾配に復元され、最大で約1メートルもあった膨らみも解消しました(※2)。



▲(※2) 復元された本丸東面石垣の勾配(令和6年12月)

石垣の標高も修理前より20～35センチメートル高くなり、当時の姿に戻りました。

また、令和7年度には天守基礎の耐震化に向けて、天守台部分に直径2メートル、長さ約35メートルの基礎杭を4本設置する予定となっているため、今年度は杭設置により地山が失われる部分に円形土留めを設置し、掘り下げる工事を開始しました(※3)。



▲(※3) 天守台南東部の円形土留め設置作業

その作業に併せて発掘調査も実施しており、これまでに縄文時代晩期の盛土遺構や土器などが出土しています(※4)。



▲(※4) 発掘調査により盛土遺構から出土した縄文時代晩期の浅鉢

積み直し前の本丸東面石垣が修理されたのは1915(大正4)年ですが、その後、昭和20年代には石垣の膨らみが指摘され始めた記録があるため、今を生きる多くの人にとっては、今回がきれいに弧を描く本来の石垣を見る初めての機会となります。当時の技術や様式美を、お城に来て堪能していませんか。

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前市緑の相談所内、☎33-8739)



▲弘前城本丸石垣修理事業



▲弘前城かわら版